

2021 年度「校内寺子屋」はじまる

本学と高大連携協定を結んでいる東京都立葛西南高等学校で実施される「校内寺子屋」事業では、毎年教職課程を履修している英米語学科の学生の多くが講師役を務めております。「校内寺子屋」事業とは、都立葛西南高等学校が 2016 年度から東京都教育委員会の指定を受け開始しているもので、都立高校生の基礎学力を向上させる放課後の補習授業のことです。今年度で 6 回目となる本事業では、英米語学科 2 年の磯野奨さん、上原二葉さん、内山瑞貴さん、児島晴香さん、桑原百蘭さん、小林優汰さん、佐久間陸人さんの 7 人が講師を務めます。9 月からの正式スタートに先立ち、7 月 13 日には、METTS の坂本純一教授が引率をして、同校の教室で事前オリエンテーションを行いました。関山勝之校長、高山庸子副校長のご挨拶をいただいた後、学生たちは教材として使用するテキストをどのように教えるか考えました。代表して佐久間陸人さんが他の学生を生徒に見立てて模擬授業を行いました。模擬授業をした佐久間さんは、「早く 9 月になってほしい。実際の高校生相手に授業をすることで緊張はしていますが、授業をすることを楽しみにしています」と語っていました。

